

とちぶん会報

No.58

2019 年 12 月 15 日

栃木県文芸家協会 発行人 小林 守城
事務局／栃木県下都賀郡壬生町中央町 16-18 三上博史 方
〒321-0226 TEL090-9318-2492

朝明第 8 号が発刊

朝明第 8 号(発行日:2020 年 1 月 1 日)が、当初の予定どおり無事刊行されました。会員各位には同封したとおり 2 冊送付します。これから迎える年末年始、会員がペンを執った作品の数々にゆっくり目を通して味わっていただければと思います。

※ 追加注文のご案内

追加注文を希望する場合は、同封した合評会・懇親会の出欠返信ハガキ、事務局への e メール(アドレス:hmikami1@outlook.jp)・電話(090-9318-2492)のいずれかの方法でご注文ください。在庫がある限り承ります。

朝明第 8 号への意見・感想について

朝明第 8 号へのご意見・ご感想をお寄せください。同封した合評会・懇親会の出欠返信ハガキに書き添えていただくか、事務局への e メール(アドレス:hmikami1@outlook.jp)でも構いません。

いただいたご意見等は、整理して来年 1 月 19 日(日)に開催する合評会において資料配付する予定です。

朝明第 8 号合評会・新春懇親会を開催

朝明第 8 号合評会・新春懇親会については、例年と同じように以下のとおり開催することとなりました。会員の積極的な参加をお願いして懇親を深めたいと思います。

- 日 時 令和 2 年 1 月 19 日(日) 午後 1 時 30 分～4 時 45 分
・合評会／1 時 30 分～2 時 40 分 ・新春懇親会／2 時 45 分～4 時 45 分
- 会 場 ホテル丸治[宇都宮市泉町 1-22/TEL 028-621-2211] 会費 5,000 円・当日支払い
- ※ 同封した出欠の返信ハガキを 1 月 10 日(金)までに事務局あて必ず郵送してください。

秋の懇親旅行(南平台温泉ホテル)を実施

10 月 29 日(火)～30 日(水)の 1 泊 2 日、秋の懇親旅行を実施しました。参加者は 4 名と少人数になりましたが、JR 宇都宮駅等に集合して那珂川町の馬頭温泉郷南平台温泉ホテルへ向かいました。

ホテル到着後、1 階ロビーにある「栃木県文芸家協会作家著書コーナー(とちぶんライブラリー)」を見学して昼食となりました。その後ホテル内の「みなみ座」において、「劇団千草」による江戸人情芝居と豪華舞踊絵巻を堪能しました。

お芝居観賞後は夕刻となり、「観音湯」に入って日頃の疲れを癒やしました。入浴後はいよいよ特別室において宴会となり、ホテルのご厚意による 30 年もののヴィンテージ白ワインを飲みながら豪華料理に舌鼓を打ちました。その後夜も更けて初日の最後のイベントとして、カラオケルームを貸し切ったの歌合戦があり、さらに盛り上がりました。

2 日目は、露天風呂に入浴し、バイキング形式の朝食をいただきました。その後ホテルを出発して大田原市内の名所・旧跡見学に向かいました。

晴れ渡る空の下、まず雲巖寺での参拝と境内散策、それから「黒羽芭蕉の館」を見学しました。同館

では企画展「開館 30 周年記念 下野路を往く松尾芭蕉」が催されていました。さらに大雄寺に向かいしました。国の重要文化財に指定されている総藁葺き屋根の見事な建築物を拝観してきました。

再び那珂川町に戻り、「馬頭広重美術館」で開催されていた「秋季特別展 没後 60 年記念ポール・ジャクレ展」を見学しました。

以上、2 日間で秋の懇親旅行を充分楽しみました。来年も同じような企画でより多くの参加者が見込める旅行を実施したいと予定しています。

『創作への志』 会員通信 No.16 小説部門 三浦 安臣

50 年間のサラリーマン時代は、企画立案・推進策や稟議書など実務的な書面を数知れず書いてきた。組織から解放され自由の身になって、それとなく書いた創作小説で栃木県芸術祭に入選したのが 70 代半ば。その後、学ぶに遅きはないと文学セミナーに通いながら、一気に 8 作品を書き上げた。自分の生きてきた道は、起伏の少ないごくありふれた人生だったので、小説の主要テーマやジャンルを考えるのが一苦勞である。

思い付いたらこまめにメモを取る。読む人の心に染みる表現を意識して、解りやすい言葉を使うように心掛けている。近頃、少しだけ書く楽しみが分かってきたようだ。

第 3 回編集会議を開催、朝明第 8 号は校正・印刷へ

朝明第 8 号発行に係る第 3 回編集会議は、11 月 12 日(火)ホテル丸治にて開催されました。

まず、表紙デザインは平澤登岳氏の竹工芸作品「漁火」の写真に決まりました。

次に、印刷会社から届いた初校ゲラを各部門の編集委員に配付し、初校は各編集委員が担当して二校は編集委員長が行って責となることが了承されました。

今回の提出作品数は、締切り後に追加が送られてきた関係で、最終的には 104 編となりました。前号が 91 編でしたので 13 編の増加です。これは会員数が昨年度より 10 名弱増えたことによるものですが、ページ数も前号より 24 ページ増えました。印刷業者から出された当初の見積額ではカバーできないということで、結果的には本年度支出予算を超えた経費となりました。嬉しい悲鳴とともに、経理面では頭の痛い事態となりました。何とか遣り繰りせざるを得ません。会員、作品数の増加は喜ばしいことですが、これが収支予算にマイナス効果として波及する構造的な問題は、今後、役員会・総会での議論が必要になってくると考えられます。このことも事務局から説明がなされ、編集委員に情報共有されました。

§ 寄贈書籍の紹介 §

- 「詩集 未完の風景」神山暁美著／発行所・オフ出版／発行日・2019 年 2 月 2 日[著者からの寄贈]
 - ・海軍兵だった父に関することをテーマに綴られた 8 編の作品で構成されている。最後の詩「なかりしか」は『海軍五省』のことを詠んだものになっている。

§ 新会員紹介 § ・小説部門 島田トミ子[宇都宮市]、鈴木あぐり[小山市]

§ ミニトピックス §

評論部門会員の宇賀神忍さんが電子書籍「季節の歌ごよみ」(発刊元・22 世紀アート/発行・2019 年 9 月 10 日)を刊行しました。アマゾンにて購読できます。

* ∞ * 事務局通信 * ∞ *

朝明第 8 号が予定どおり刊行されました。編集委員長として、事務局長として 2 年目となり、昨年より慌てることが少なかったようです。提出作品数が増えて経費が嵩んだことは本当に頭の痛い話です。

秋の懇親旅行は、利用した南平台温泉ホテルからのご厚意により破格の料金で各種のサービス提供を受けました。夕食時に特別室でいただいたヴィンテージ白ワインの格別の味わいは、初めて経験するもので忘れられない思い出になりました。改めて南平台温泉ホテルに感謝申し上げます。初日こそ小雨が降りましたが、2 日目は快晴となり、古寺巡り、施設見学も最高のものとなりました。(三上)